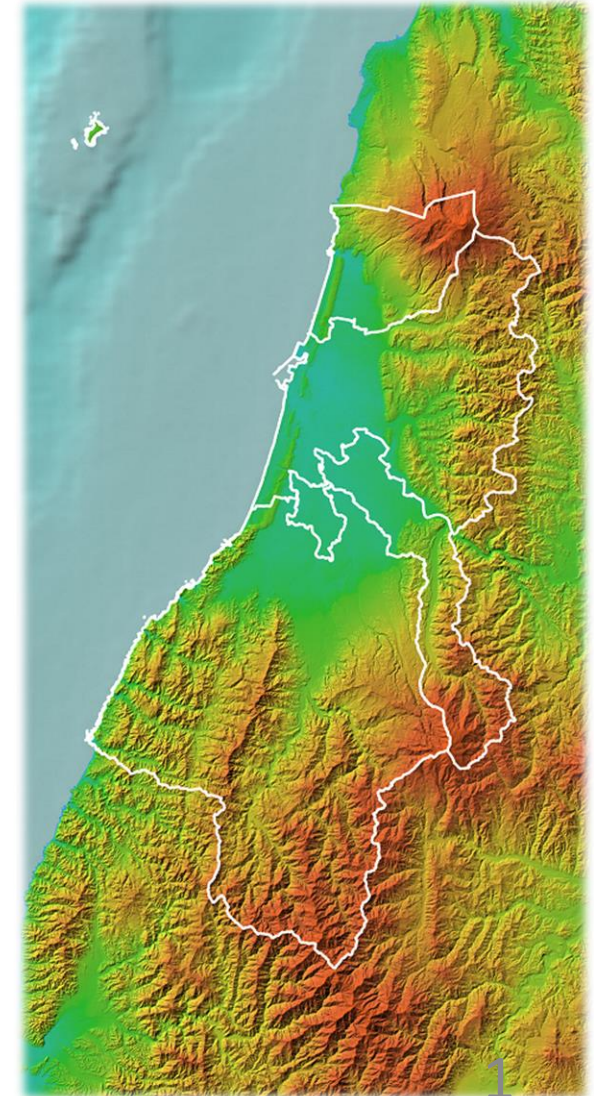


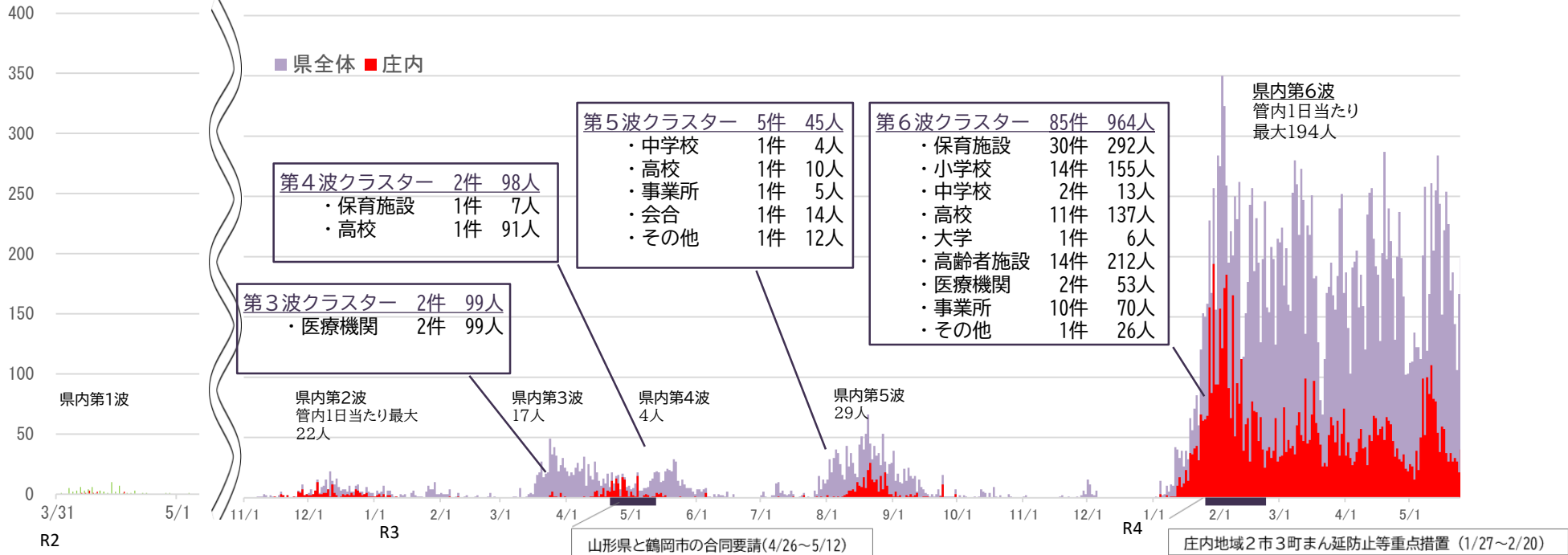
## 庄内総合支庁管内の主な地域課題と取組状況等について

- 1 新型コロナの状況
- 2 若者定着・移住の促進
- 3 飛島振興
- 4 「食の都庄内」づくりの推進
- 5 With・ポストコロナの交流拡大
- 6 地域の話題



# 1-1 新型コロナの状況

## ■ 新規感染者数の推移 (県・庄内地域)



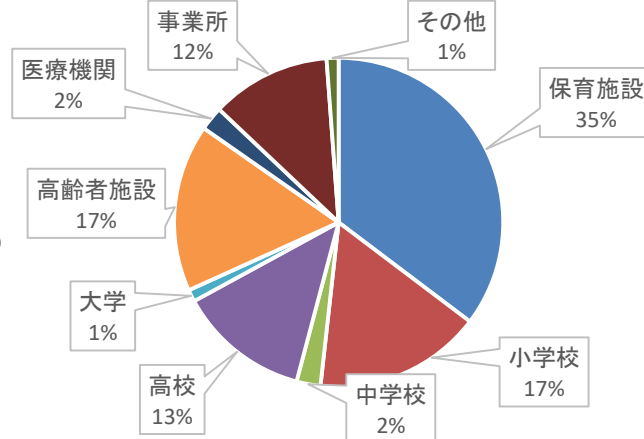
## ■ 庄内管内累計感染者数

8,133人 (R4.5.27現在)

鶴岡市	3,950人
酒田市	3,054人
三川町	234人
庄内町	466人
遊佐町	429人

## ■ 集団感染(クラスター)の発生状況

管内発生94件のうち、85件(90%)が第6波で発生



## ■ 療養者の状況(R4.5.26現在)

入院	5人
宿泊療養	5人
自宅療養	580人

## ■ 相談・検査体制

- 保健所を中心に全庁体制(約180人)で、休日も含めたローテーション体制を構築

## ■ 療養支援の状況

- 中等症以上の患者は、重点医療機関の日本海総合病院、鶴岡市立庄内病院へ入院
- 患者急増の場合は、管内病院の協力を得る体制を構築
- 自宅療養者に対応する電話診療を日本海総合病院、鶴岡市立庄内病院、97医療機関、84薬局の協力で実施
- 庄内地域に宿泊療養施設を確保(168室) R3.10~全庁体制(約180人)でローテーションを構築

# 1-2 新型コロナの状況

## 地域における新型コロナの影響

### 製造業

- 食料品関連や電気機械製造関連では、原材料高騰のため経営に悪影響が出ている。

[A社] 主要品目: 麩の製造・販売

・資源高(小麦高騰47%増)の影響で、受注量とともに利益率も落ちている。

[B社] 主要品目: モーター製造販売

・原材料の高騰及び入手困難で経営に影響が出ている。中国産の磁性材料を商社経由で購入しているが、価格が4倍に上がった。

- 電子部品関連では、中国国内の感染防止拡大措置(ロックダウン)の悪影響が出ている。

[C社] 主要品目: 電子部品・コイル製品

・売上高はコロナ前に比べ30%以上減。中国のコロナ拡大で現地2工場のうち一つが操業停止

- 電子部品等の調達難が続いており、生産に遅れが生じ売上高が減少する影響も出ている。

[D社] 主要品目: 電気機械器具製造

・受注そのものはあるものの、部品(コンデンサー等)の入手遅れで売上高が30%減

- 半導体業界の活況で、受注が増加しているところもある。

[E社] 主要品目: 管工事(空調設備・衛生設備)

・最近では半導体関係を中心に活況で、受注残は過去最高まで回復。

### 観光業

#### 【宿泊施設】

- 4月は春旅により好調に経過した。
- 5月は春旅延長で対象エリアの県内外客の利用により、昨年度比で増加見込み。
- 燃料・電気代高騰のため負担が増している。納入業者からの値上げを懸念する宿泊施設もある。

[A温泉]

- ・4月は前年比40%増。
- ・電気代が例年と比較して大幅に高騰。
- ・5月は前年比10%増見込み。

[B温泉]

- ・4月は前年比172%増。

#### 【観光立寄施設】

- 4月は春旅により好調だったが、団体客は大幅減となった。
- GWは期待以上。GW明けからの教育旅行予約が目立つ。
- 光熱費負担が増している。仕入れ価格値上げのため、販売価格見直しを検討している。

[C施設]

- ・4月は前年比150%増。団体動向は、令和元年比90%減と厳しい。
- ・5月は前年比200%増見込み。
- ・光熱費や原材料費の価格の高騰による影響懸念。

[D施設]

- ・4月は前年比30%増。
- ・5月は前年比50%増見込み。

### 飲食業

- 飲食の客数・客単価は戻り始めている。
- 昼営業、夜営業ともに原材料・物価高騰の影響を価格に転嫁できない飲食店が目立つ。

[商工団体からの聞き取り]

- ・原材料高騰で仕入れ値が上がっている。電気代も上がっている。客離れ等の不安から仕入経費増分を価格転嫁できない。(夜営業)
- ・輸入食材(えび、メンマ等)が値上がりしている。食用油も国内需要の増加で倍近くになった。今後の食材のさらなる値上げを懸念している。(昼営業)

- 食品卸業では、前年3月対比で売上げが2割増加したが、コロナ禍前の8割水準に止まる。
- 飲食店、旅館等では密回避のため客を8割程度の規模で抑えており、前年より微増傾向であるが、コロナ禍前の水準までは戻っていない。

[運転代行業]

- GWは人手が多く稼働率が高かった。
- 客離れ懸念から燃料費の高騰分を値上げできず、収益を圧迫している。

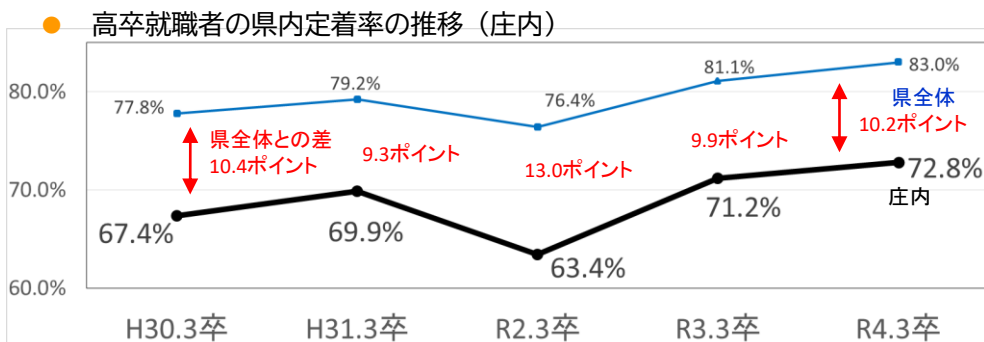
[商工団体からの聞き取り]

- ・ガソリン代の高騰で経費が上昇している。値上げすると客が他社に流れるので、簡単に上げることはできない。

# 2-1 若者定着・移住の促進

## 現状

高校卒業生の多くが進学・就職のため県外に転出



## 課題

- ① 地元で暮らす選択を促進するため、若者の郷土愛を醸成することが必要
- ② 高卒就職者の県内定着率を高めることが必要
- ③ 県外進学者の回帰、UIJターンにより転入者を増加させることが必要

## 主な取組み

### ① 若者の郷土愛の醸成を促進する取組み

～地域で活躍する若者と共に郷土について考える機会の提供～

#### ■ 若者「庄」学校ワークショップ

- ・ 高校生を対象に、庄内地域で活躍する若者と共に郷土について考えるワークショップを開催
- ・ 「若者『庄』学校」の取組みを地域一体となって進めるための学習会の開催 【新規】



地域で活躍する若者が先導

## 推進体制

### 庄内若者定着促進会議

#### 提言

少子高齢化、人口減少が加速する中、労働力を確保し、地域の維持発展に不可欠な若者の定着を促進するため、「産・学・官・金・労・言」の各界が、危機感を共有しながら意思疎通を図り、若者人材の定着・回帰を促進する施策を検討

#### 高卒者等県内就職促進 ワーキングチーム

【対象】中・高校生

#### 県外大学等進学者・県内回帰促進 ワーキングチーム

【対象】県外進学者

#### 県内進学促進 ワーキングチーム

【対象】小・中・高校生及び  
県内大学生等

#### 検討

#### UIJターン促進 ワーキングチーム

【対象】UIJターン希望者

#### 施策に反映



# 2-2 若者定着・移住の促進

## ② 高卒就職者の県内定着率を高めるための取組み

～ 生徒自身が地元でいきいきと働くイメージを持てるよう、  
職業体験や地域の働く大人たちとの交流機会を創出 ～

### ■ 中・高生の職業体験会「WAKU WAKU WORK」

- ・ 中・高生に地元の「人・企業・職業」を知ってもらい、地元定着や進学後の地元回帰を促すため、総合支庁・市町・学校が実行委員会を組織し、開催
- ・ 地域の様々な企業等がブースを配置し、生徒が実際の作業を模擬体験

〔高等学校長との意見交換会等から〕

- 中学生からの早い段階で、庄内のすばらしい企業をPRする必要
- 職業体験で地域を支える様々な職業の人たちがいるという事を知ることが、キャリア教育、郷土愛につながり**中学生に重要**

### 【R3実績】

中学校1校（1回）、高校4校（5回） 計5校（6回）

### 【R4予定】

中学校14校（16回）、高校6校（7回） 計20校（23回）



※令和4年度は、高校入学前のより若い世代に地元で働くイメージを持ってもらえるよう中学校での開催を拡大

### ■ 高校生と地元企業との交流会

- ・ 地元企業を身近に感じる機会を創出し、地元で働くイメージを持ってもらうため、若手・女性社員と高校生が各企業ブースで率直な意見交換を実施



### ■ 地元建設業の現場見学会

- ・ 中高生を対象に地元建設業の魅力を伝える現場見学会、意見交換会の開催とリーフレットの配布



## ③ 県外進学者の回帰、UIJターンによる転入者増加のための取組み

～ 学生・保護者・UIJターン希望者に庄内の企業・くらしの情報を様々な媒体を活用して発信 ～

### ■ 保護者を通じた県外進学者への就職情報提供

- ・ 県外に進学した大学生の地元回帰を促すため、就活を始める大学3年生の時期をとらえ、就職先選択の重要な助言者となる保護者を通じ、地元就職に関する情報を送付（年3回）

7月 ふるさと就職のすすめ、  
インターンシップ情報（夏）  
12月 インターンシップ情報（冬）  
3月 企業採用ガイドブック

- ・ 総合支庁、市町、産業界が連携し、**庄内全域の企業採用ガイドブックを令和4年3月新たに5,000部作成**

★ アンケートに寄せられた意見  
「庄内の企業が一覧でき、わかりやすい」  
「明るい写真と社員コメントで企業イメージを持ちやすい」など



### ■ 学生・UIJターン庄内就職説明会

- ・ 新卒大学生、UIJターン希望者等を対象に、地元企業との就職面談の場を提供

### ■ SNSから庄内の暮らしを発信

#庄内暮らしツタエタイ

- ・ UIJターン希望者が、庄内の暮らしを具体的にイメージできるよう、リアルな庄内の「暮らし方」を魅せ、生き活きと庄内に「暮らす人」との交流会を開催



# 3 飛島振興

## 1 持続可能な飛島づくりプロジェクト

・飛島の振興に向け、産学官民の連携のもと、4分野を重点プロジェクトとし、有識者の意見を取り入れながら施策を展開(H30～)

【プロジェクトメンバー】

県(本庁関係部・庄内総合支庁)

酒田市

とびしま未来協議会(島民、島の応援団)

### 持続可能な飛島づくりプロジェクトの主な取組み(県・酒田市)

#### 1 観光交流

- ①観光交流等の「情報発信・活動拠点の機能形成」
- ②「飛島の魅力」体験プログラム等の展開

#### 2 産業振興

- ①飛島の資源を活用した水産業の再生と担い手の確保
- ②飛島の食材を活用した「とびしまブランド」化の推進
- ③かんきつ類の栽培等

#### 3 安全・安心、生活環境の充実

- ①津波対策等の強化等
- ②生活の基盤となる医療の充実等

#### 4 移住定住促進

- ①移住定住の促進に向けた総合的なプログラムの展開

## 2 飛島移住定住促進事業

### 事業目的

- ・移住者の増加：飛島での移住体験等により飛島への移住者の増加
- ・関係人口の創出：飛島と関係を持ち続ける「関係人口」の拡大、活性化

### 事業内容

(R3は全てオンラインで開催、R4はオンライン+リアルで実施予定)

- ① 飛島オンラインツアー・トーク … 映像を通じて飛島を紹介し、飛島への興味・関心を喚起して②以降のイベントに誘導する。
- ② 飛島オンライン アイデアソン※ … 飛島を題材としたアイデアソンを行い、参加者に飛島での生活を体験してみたいという思いを抱いてもらう。  
※アイデアとマラソンを組み合わせた造語。新しいアイデアを生み出すためのイベント。
- ③ リアル島ターン … 短期移住体験プログラムにより、参加者が飛島での生活を実際に体験することで、飛島を移住先として意識してもらう。
- ④ 島ターンフォローアップ … ここまでのプログラムで参加者が作成したプロジェクトを発表・発信し、参加者の飛島との関係を深化させ、継続的な関わりへとつなげていく。

## 3 次期離島振興計画の策定(計画期間：令和5年度～令和14年度)

【R3の取組み】・「持続可能な飛島づくりを考える会」(「考える会」)の開催

内容：飛島の将来像を考えるワークショップ(参加者：県、酒田市、島民、島の応援団)

【R4の取組み】・「考える会」(第2回・第3回)の開催

内容：今後10年間の飛島振興策についてのワークショップ・外部講師の意見聴取(予定)

## 4 その他：スマート・オーダーシステムの実施

・合同会社とびしまが、昨年度に実証試験を行った食料品等のオンライン注文・配達システム「うみねこちゃん」を、今夏から実施予定。



R3短期移住体験事業の様子(オンライン)

# 4-1 「食の都庄内」づくりの推進



## 「食の都庄内」づくり

庄内の四季折々の多彩な食材と、歴史・風土が育んだ食文化を、庄内の魅力として地域内外に発信するとともに、多様かつ主体的な取組みを通して、「食の都庄内」のブランド化を推進し、食を起点とした地域産業の活性化を図る取組み

### 令和3年度の主な取組みと令和4年度の方向性

#### ■ブランドを支える生産基盤の確立

##### ●高品質・良食味米の安定生産に向けた「スマートつや姫」実証

- ・ 衛星リモートセンシングを活用した「つや姫」の生育診断技術の広域実証
- ・ 庄内全域の市町・JA等で構成する研究会を設立
- ・ JA等の技術指導者や生産者へシステムを周知



システムについてJAの技術指導者へ説明

⇒R4:『知る』から『使う』へのステップアップ  
現場で使用し、システムをブラッシュアップ

##### ●庄内浜産水産物の安定供給と魚価の安定化に向けた蓄養モデル実証

- ・ 蓄養の試行と省力化、生産性向上を実証

⇒R4:生産性の向上と採算性・省力化の検証



屋外水槽で蓄養中のマダイ

##### ●アスパラガスのハウス長期どり栽培の多収・安定生産に向けたICT技術を活用したモニタリング実証

- ・ 生産者のハウスに多収技術実証圃を設置
- ・ 栽培環境モニタリング機器を設置。測定データを生産者等と共有

⇒R4:地域のリーダー的生産者等とデータを共有。モニタリング結果に基づく指導を実施



ハウス内の環境モニタリングについて関係機関と情報共有

##### ●新規漁業就業者の確保・育成に向けたきめ細かな支援

- ・ 漁業就業の動機付けから転入費用支援、漁業技術高度化研修など各段階に応じた支援

⇒R4:漁家子弟支援を追加、漁業技術高度化支援を継続実施





# 4-2 「食の都庄内」 づくりの推進

## ■庄内の食材の価値・ブランドの更なる向上

### ●SNS等を活用した情報発信



募集投稿と庄内砂丘メロンアンバサダーによる投稿画像

- ・ インスタグラムにより庄内の「食」の魅力を伝える「アンバサダー」を募集。R3のテーマは庄内砂丘メロン
- ・ 募集・投稿を通じて認知度向上に寄与

⇒R4:米・米粉と庄内の食材の組み合わせで実施予定

## ■庄内の料理人等の育成・定着

### ●若い世代へ「食」に携わる職業の魅力を伝える記事連載



料理人や生産者を紹介

- ・ 料理人や生産者などにインタビュー
- ・ 記事をHPに掲載するとともにSNSで紹介
- ・ R3は料理人、ホールスタッフ、農家等を紹介

⇒R4:引き続き連載  
進路選択を控えた高校生に広く周知するため、ダイジェスト版を管内高校生へ配布

## ■庄内の「食」を中心とした交流拡大

### ●飲食店を周遊するキャンペーンの実施



R3キャンペーン

- ・ 飲食店を周遊しスタンプを集めて応募した人に抽選でプレゼントが当たるキャンペーン (R3.10.8～R4.1.10)
- ・ 応募数510件

⇒R4:周遊をさらに促すため、観光施設を掲載するなど観光分野と連携して実施



# 5-1 With・ポストコロナの交流拡大

地域の強みを活かした観光誘客の新たな展開と強化を図り、それらを有機的に結んで広域周遊を促進します。さらに、新たな観光スタイルに即応したデジタル活用や、マイクロツーリズムを推進することにより、多様なニーズを取り込んだ観光流動を喚起し、地域の経済活動の回復と一層の拡大を図ります。

また、令和3年度に設立した庄内空港ファンクラブの充実により、With・ポストコロナにおける利用回復を図ります。

## ■観光誘客の新たな展開と強化

### 1 庄内三十三観音魅力新発見事業【新規】

若い世代の視点から新たな魅力を発掘するため、高校生が庄内三十三観音・即身仏を巡り、情報発信を展開する。



第六番札所 白狐山光星寺

### 2 仙台圏をターゲットにした観光誘客事業【新規】

マイクロツーリズムの主要ターゲットである仙台市への誘客対策として、「花火大会」や「夏まつり」をメインテーマに、3年ぶりに現地での情報発信や物販等を実施し、夏の誘客を強化する。



氣龍祭(庄内町)



花火大会

## ■広域観光周遊の促進

### 1 庄内まちなびカード事業【拡充】

観光客の域内周遊の促進と滞在時間の増大を図るため、観光施設や店舗等の情報や来店特典を記載した「庄内まちなびカード」を観光客が多く訪れる施設に設置する。

#### 【令和4年度拡充点】

設置個所 2カ所→8カ所

参加施設 45施設→63施設(予定)



まちなびカード

## ■デジタルの活用

### 1 庄内の魅力満喫デジタルスタンプラリー事業【新規】

JR東日本の南東北重点販売指定の流れを継承し、歴史・文化・自然・食の魅力スポット100カ所を対象としたGPS利用のスタンプラリーを7月から実施する。



月山弥陀ヶ原



飛島 渚の鐘



玉簾の滝

### 2 庄内共通周遊ととくとくパス事業【拡充】

管内美術館・博物館等7施設から3施設を選んで割安で巡れる電子チケットをJR東日本「TOHOKU MaaS」と連携し販売する。

#### 【令和4年度拡充点】

電子チケットを提示すると割引などの来店特典を受けられるサービスを新たに創設し、一層の周遊を図る。



### 3 登山ユーチューバーによる情報発信【新規】

「山の日」全国大会の本県開催を受けて、登山YouTuberによる鳥海山の登山体験を庄内観光コンベンション協会のホームページやYouTubeで発信し、登山客拡大につなげる。



チョウカイフスマ

# 5-2 With・ポストコロナの交流拡大

## ■マイクロツーリズムの推進

### 1 また来て羽越☆リピート旅キャンペーン【継続】

日本海きらきら羽越観光圏(秋田・山形・新潟の3県10市町村)へのリピーター獲得を目的に、温泉宿泊客等を対象に次の旅行で使える宿泊キャッシュバックチケットや地域特産品が当たるキャンペーンの第二弾を実施する。

第一弾のキャッシュバックチケット当選者のリピート率(※) 85.4%

※当選をきっかけに再び観光圏に旅行して宿泊した方



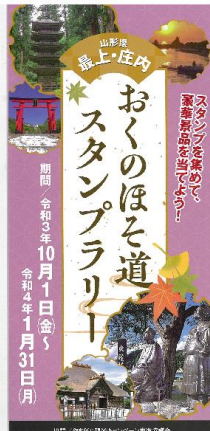
地域特産品(イメージ)

### 2 松尾芭蕉 来県333年との連携

最上総合支庁と連携し、芭蕉ゆかりの地域を巡って、宿泊助成券、食事券、特産品が当たるスタンプラリーを実施する。



芭蕉句碑  
(日和山公園)



## ■おいしい庄内空港ファンクラブの充実 ～LINEで親しみやすい空港に～

・コミュニケーションアプリ「LINE」を活用したファンクラブを設立

会員数: **2,082人**(5月24日現在)

設立日: 令和4年2月21日

### 会員特典

- ・庄内空港のラウンジを無料で利用可能
- ・空港内テナントでの割引クーポンを発行

### 今後の取組み

- ・会員特典の拡充や航空教室等の会員限定イベントの開催等により、航空需要の喚起を図る



LINE画面(イメージ)



庄内空港ビルマスコット  
キャラクター「まめうさ」



庄内空港内に入会促進広告を掲出 **9**



# 6 地域の話題

## ■ 酒井家庄内入部400年

令和4年は酒井家が藩主として庄内に入部して400年。鶴岡市では記念事業開始式を皮切りに講演会、動画等による情報発信等、様々な記念事業を展開している。



酒井家庄内入部400年

庄内2市3町のミュージアム計26館が関連展示を実施するほか、それらを巡る「ミュージアムスタンプラリー」が好評実施中。



記念事業開始式 (R4.4)



キャッチフレーズ

## ■ 国宝 羽黒山五重塔 屋根改修工事

(令和5~7年)

羽黒山五重塔の屋根が風雨で腐食が進んだことから、令和5年から令和7年春頃まで屋根改修工事が行われる。

この期間は工事足場等によって五重塔を見られなくなるため、今年中の観覧を呼びかけている。



羽黒山五重塔

## ■ 庄内浜 釣りケーション

令和2年度に鶴岡市由良地域で発案された『釣り+ワーケーション=釣りケーション』。

令和3年度は庄内空港利用振興協議会がANAと連携して観光庁の実証事業に申請、採択され、首都圏向けモニターツアーやオンラインイベントなどを展開した。

令和4年度は、羽田便を活用して、首都圏の釣り初心者等を対象とした旅行商品を販売し、事業効果を実証する予定。



釣った魚を捌いて食べる旅行コンテンツ実証



事業紹介動画をANA国内線機内で上映 (8月まで)

## ■ ANA SHONAI BLUE Ambassador

庄内地域の魅力を発掘・発信し、地域創生に貢献するため、客室乗務員が庄内に移住し、国内線乗務のかたわら、情報発信や地元企業と連携した商品開発等を行っている(現在5名)。



「酒の酒田 日本酒プロジェクト」PR



動画による庄内旅PR